

高次脳機能障害研修会を11月7日に伊那市で開催します

高次脳機能障害のある方への理解促進と支援の充実を図るため、高次脳機能障害の当事者やそのご家族、保健・医療・福祉関係者、教育機関や高次脳機能障害に関心のある方など、広く県民の皆様を対象として、研修会を開催します。

日時 令和8年11月7日（土）13:30～16:30（13:00から受付開始）

場所 長野県伊那文化会館小ホール（伊那市西町5776）

主催 長野県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会
（長野県及び長野県が指定する高次脳機能障害支援拠点病院で構成）

内容 高次脳機能障害者当事者が語る講演会

講師 鈴木大介 氏 「怒りっぽい当事者をどう支援する？」

鈴木大介氏のご紹介

子どもや女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動をするルポライターであったが、2015年に脳梗塞を発症し、高次脳機能障害当事者に。

その後は高次脳機能障害者として自身を取材した闘病記や夫婦での障害受容を描いたものなどを出版。代表作は、『最貧困女子』・『脳が壊れた』

対象者 どなたでも参加可能です。

参加費 無料

申込方法 10月31日（土）までに、別紙チラシの申込方法に記載の方法で申込みをしてください。（2次元コード又は電話・FAX）

申込みがなくても参加は可能ですが、ホールの定員に限りがあるため、できるだけ事前の申込みをお願いします。

高次脳機能障害とは、交通事故や病気などにより脳に損傷を受けた結果、記憶障害・注意障害等の認知障害などが残り、日常生活や社会生活（就学、就労等）に支障が生じた状態をいいます。身体の障がいを伴わないこともあるため、外見上は障がい分かりにくく、周囲の理解も得られにくいことから、ご本人やご家族の負担が大きいものとなっています。

【あいサポートマーク】



長野県は、「信州あいサポート運動」により、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）を目指します。

（問合せ先）

担当 健康福祉部障がい者支援課管理係
和泉、和田
電話 026-235-7103（直通）
026-232-0111（代表）内線 2385
ファクシミリ 026-234-2369
電子メール shogai-shien@pref.nagano.lg.jp

